

## 「がん進展制御研究所セミナー」開催

2019年12月23日

12月23日（月）、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、金沢大学ナノ生命科学研究所 助教（Jr.P1）戸田 聡 先生をお招きして、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、「合成組織形成 自己組織化により生じる多細胞構造の人工形成 ～Synthetic Tissue Formation～ Programming Multicellular Self-organization」という演題で、細胞接着の操作による多層構造形成や人工的なパターン形成について紹介し、細胞の挙動を操作・創作する合成生物学アプローチがどのように医療応用に役立つかを議論し、大変有意義なセミナーとなりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生22名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



# 合成組織形成

自己組織化により生じる多細胞構造の人工形成

## Synthetic Tissue Formation Programming Multicellular Self-organization

戸田 聡 博士

金沢大学 ナノ生命科学研究所・助教 (Jr.PI)

【日時】2019年12月23日(月) 17:00～18:00

【場所】がん進展制御研究所 4F会議室

細胞は、様々な分子を使って近くにいる細胞とシグナルをやり取りする、つまりコミュニケーションすることで、細胞集団のふるまいを制御しています。複雑な構造をした組織の形成や再生もこの細胞の集団行動によって行われます。では、どのような細胞間コミュニケーションを行えばどのような多細胞構造を形成することができるのでしょうか。我々は、モデル生物や幹細胞を用いるのではなく、組織形成能のない細胞に新たな細胞間コミュニケーションを設計し、実際に細胞による組織形成過程をつくり出して検証しています。

本セミナーでは、細胞接着の操作による多層構造形成や人工的なパターン形成について紹介し、細胞の挙動を操作・創作する合成生物学アプローチがどのように医療応用に役立つか、議論したいと思います。

がん進展制御研究所 平尾 敦

(連絡先：遺伝子・染色体研究分野 内線6755)